

令和6年度第5回 岐阜市地域福祉推進委員会 議事録

1 開催日時

令和7年2月7日（金） 13:30～14:55

2 開催場所

岐阜市役所 庁舎6階 6-1大会議室

3 出席委員（13名）

岐阜市身体障害者福祉協会

五十川 勝也

岐阜市医師会

今泉 松久

岐阜市赤十字奉仕団

上田 千衣子

岐阜市青少年育成市民会議

江原 由美子

岐阜市自治会連絡協議会

桐生 伸治

中部学院大学

佐甲 学

岐阜市介護支援専門員連絡協議会

佐藤 有紀子

公募

篠原 輝政

岐阜市民生委員・児童委員協議会

杉山 修二

公募

高橋 誠司

岐阜市老人クラブ連合会

棚橋 靖夫

岐阜市社会福祉協議会

横山 克徳

岐阜県社会福祉士会

吉田 麻美

（五十音順、敬称略）

4 議事次第

1 開会

2 議事

（1）第2期岐阜市地域福祉推進計画の取組結果について

（2）第3期岐阜市地域福祉推進計画の最終案について

（3）答申案について

3 報告

今後のスケジュールについて

4 閉会

議事概要

1 開会	
	(確認事項)
2 議事	
(1) 第2期岐阜市地域福祉推進計画の取組結果について	
事務局	(「第2期岐阜市地域福祉推進計画の取組結果について」説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藍川地区と岩野田北地区のちょこっとお助け隊の事例は素晴らしい活動だと思う。こうした取組を振り返って、今後の展開や構想などをどう考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域から支部活動として今後も継続していきたいという意見があったので、継続しながら、地域で独自性を持って事業を展開していただきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティで担い手を育てるという点では、地域が一体となって何か事を起こさなければいけないと感じている。 ・ 鏡島地区の取組では、福祉教育やサロンの催しで、小学生と高齢者、高校生も交流する良い機会を得た。高齢者と子どもたちが一緒になって何かをやるという素地はできたと感じる。 ・ また、認知症サポート講習を小学校で行い、地域包括支援センターや保護者の方にも来ていただけるよう取り組んでいる。 ・ 災害時など、何か起きた時に対応できるかが地域コミュニティの重要なところなので、自治会加入率の向上を目指し、諦めずに広報していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3期計画ではコミュニティソーシャルワーカーに重点が置かれている。そこに至った経緯や福祉まるごと支援員が取り組む中での課題が読み取れなかったので、福祉まるごと支援員の対応ケースの具体例や支援員さんの声などを載せたら良かったと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉まるごと支援員の活動により、専門的な機関が支援する部分は充実できたが、日常生活の小さな困りごとや地域の課題へのフォローが必要だと感じる。 ・ また、複雑・複合的な生活課題はどこに相談していいかわからないという声もあり、身近なところに相談先があればもう少し地域支援の部分を充実できるのではないかと考えた。そこで、専門職が地域に常駐することで福祉活動の拠点となり、支え合いやつながりが生まれるよう、CSWを第3期計画に盛り込んだ。 ・ 福祉まるごと支援員の対応ケースは、8050問題や再犯防止、ゴミ屋敷の問題など様々で、どれもすぐには解決に至らないが、関わり続けて決して繋がりを絶たないというところが一番重要だと考え、取り組んでいる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度の相談件数に対し、後見制度につなげた実績はとても少ない。 ・ (成年後見制度の報酬補助について) 予算が1,000万円、1人当たりの上限が30万円と聞いたが、岐阜市の人口に対して少ないと思う。 ・ 成年後見制度を利用するに当たって、障がいを持っているお子さんの申請に膨大な資料を作成する必要があり、ほかにも医者への診断書料などのことを考えると、申請する気がなくなる。成年後見制度のPR方法も踏まえ、本当に使いやすい制度にしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「成年後見制度につないだ実績」は市長申立てを行った件数である。相談に来られ

	<p>た方が直接家庭裁判所に申請した場合などの件数は含んでおらず、すべての申請件数を岐阜市で把握することはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の報酬補助については、被後見人が資産のない場合を対象にしており、現在岐阜市で申請していただいている件数は約 30 件であり、この予算規模で対応できているのではないかと考えている。なお、上限は家庭裁判所で審判された金額としているので、岐阜市で 30 万円等の上限は設けていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターのケース検討会議は、市長申立てのみを対象にしているということではどうか。それ以外のケースについては検討しないのか。 ・成果指標の結果について、2 つ目の項目のみ 47.7% から 48.8% とアップしているが、横ばいぐらいのイメージで受け取った。これをアップとするならば、ダウンの部分はもっと様々な検討をしていけないのではないかと考えている。 ・この 5 年間様々な取組をして、福祉に関しても数値的には頑張っているのは分かるが、なかなか成果指標が上がってこないということ踏まえて、次の計画を立てていくことが必要ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討会議は市長申立ての場合を対象としている。そのほかのケースは、ケアマネジャーが行う会議や地域包括支援センターが行う会議で検討を行っており、その会議には成年後見センターの職員も出席している。 ・成果指標は、厳しい結果になった。この意識調査については様々な要因が考えられ、明確に把握することは難しいが、やはりコロナ禍の影響が大きかったのではないかと考えている。コロナ禍を経て様々な社会問題が顕在化し、それに伴って個々の認識が改められ、社会の見方も少し変わってきた。加えて、近年の異常気象、災害の多発、物価高騰などの社会経済情勢の変化が市民の意識に変化をもたらしていると考えている。こうした背景を踏まえ、調査結果を厳粛に受け止めており、今後の課題として明らかになった、繋がり希薄化や将来的な不安、若い世代の担い手不足などについては、第 3 期計画に反映させ、取り組んでいく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「20 歳の集い」で若者たちに話を聞いたところ、地域のために尽くしたい、頑張りたい、自分の住んでいるところを良くしたいという答えがたくさん返ってきた。市民意識調査では、若者の活力があるまちだと思う人の割合が減っているが、若者を大切に、自己肯定感を高めることによって、これから先、今の子ども達が成人して、地域の担い手になってくれると思う。
<h2>2 議事</h2> <h3>(2) 第 3 期岐阜市地域福祉推進計画の最終案について</h3>	
事務局	(第 3 期岐阜市地域福祉推進計画の最終案について説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む住民が行政機関を頼るニーズは多いと思う。近所付き合いが希薄化する状況でもあり、地域のニーズは地域に根差した人でなければ把握が難しいので、CSW の活動は民生委員と一緒にやってほしい。 ・CSW の制度があるということを民生委員全員が知っておくべきなので、民生委員・児童委員協議会と連携を取って情報提供をしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 期岐阜市地域福祉推進計画案 21 ページの「団体ヒアリングからみえてきた課題 (抜粋)」について、2 段目の障がいの欄で、「相談員」では一般の人にはわからないので、「身体・知的障害者相談員」としてほしい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、文言を修正いたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に 8050 問題を抱える方がいて、関わっている。先日、市内の就労支援施設に行ってきたが、施設自体があまり知られていないようだ。周知するとともに、就労に関する相談があった時は、こういった施設についても案内してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり相談室では、相談員が皆様の意見を聞きながら、その方に必要な支援を提供しており、就労支援が必要な方も色々な手段があるので、その中の1つとして考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見が全部で 38 件とのことだが、前回と比べて多かったのか少なかったのか。市民の方がどの程度関心持っていただけたのかというのが気になる。 ・計画は分かりやすい冊子になっていると思うが、どのような形で活用していくのか。これまでの委員会でも情報発信は課題であるとされているが、どのように周知していくのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見数は、前回の 5 年前も同程度の意見をいただいている。 ・計画の本冊はボリュームがあるので、概要版を多く作成し、地域の様々な集まりの場で配布するなど、幅広く周知することを考えている。 ・本冊については、デジタル媒体での周知に加え、支援機関や福祉の関係者の研修の場などで配布し、活用していただくことを考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加している人の割合が平成 30 年と令和 6 年でほぼ変わっていないのに、自治会の盛んな地域と思う人の割合は 10 ポイントも減っている。これは広報不足や広報しても届いていないというところで反省点がある。防災活動やまちづくり協議会、民児協、老人会、青少年市民会議など、様々な活動に自治会が関与しているということを地域の方に理解してもらえれば、2つ目の柱「場づくり」の成果指標、「自治会などの地域活動が盛んなまちだと思ふ人の割合」が 10 ポイントも下がることはないと考えている。 ・地域コミュニティの大切さを説く時、自治会に加入をしていただいて「共助の部分で皆様方一緒になってやりましょう。」と、福祉分野においても示して欲しいし、行政においても一緒に活動をしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市がゴミを有料化するのに伴い、自治会加入世帯に市が指定ゴミ袋を配ることが検討されており、それに対して法的根拠があるのかという指摘があると聞いている。この件については、各自治会連合会あるいは単位自治会がお金を出して、差別化をすれば良い方向が見えてくるのではないかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・再犯防止に関して、保護司の担い手が不足している理由として、会議などが平日の昼間などにあるということがある。20 代、30 代の方の仕事や家庭状況などを考えると、担い手になるのは難しいと感じる。時間設定などの改善が必要だと思う。
2 議事	
(3) 答申案について	
事務局	(「答申案について」説明)
委員	(意見・異議なし)
4 報告	
今後のスケジュールについて	

事務局	(「今後のスケジュール」説明)
5 閉会	
	(事務局あいさつ)

- 以上 -